

2019年5月21日

報道関係者各位

武蔵野興業株式会社

今までの100年、これからの100年
武蔵野館 100周年記念企画のお知らせ
2019年6月～2020年6月



2020年6月、お蔭様で武蔵野館は開館100周年を迎えます。

100年の歴史の中で、社会における映画の役割も、映画における映画館の役割も大きく変わってきました。これからの100年間に於いて、映画は、映画館はどのように変わっていくのでしょうか。また、どうあるべきなのでしょう。

弊社では、感謝の気持ちをこめて、100周年の記念企画を実施いたします。今までの100年間を振り返りつつ、これからの100年間を考えるきっかけになれば、と考えています。

記念企画のメインとして、2020年6月の武蔵野館100周年に向けて、2019年6月より毎月記念上映を予定しております。懐かしの作品や劇場で見られなかった作品など、様々な作品を上映してまいります。また100周年を記念したオリジナルグッズの販売や、100周年をより楽しむための記念パスポートも企画しております。

様々な視点から映画を楽しんでいただけるよう、感謝をこめて武蔵野館から100周年記念企画をお届けいたします。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。



武蔵野興業株式会社所蔵写真

記

名 称 武蔵野館 100 周年記念企画
期 間 2019 年 6 月～2020 年 6 月
会 場 武蔵野館 〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-27-10 武蔵野ビル 3F
シネマカリテ 〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-12 新宿 NOWAビル B1F
問合せ先 総務部 豊田 TEL03-3352-0052
詳 細 <http://shinjuku.musashino-k.jp/100th>

<100 周年記念上映> 2019 年 6 月上映作品「語り継がれる名作バトン」

6 月 8 日(土)～14 日(金)武蔵野館にて上映

- 6 月 8 日(土) 【活弁上映】『ローレル&ハーディのキルトとズボン』、『カリガリ博士』
弁士:澤登翠・(声の出演)徳川夢声 演奏:カラード・モノーン・トリオ
- 6 月 9 日(日) 【活弁上映】『十誠』
弁士:澤登翠 演奏:カラード・モノーン・トリオ
- 6 月 10 日(月)・11 日(火) 『モダン・タイムス』
- 6 月 12 日(水) 【活弁上映】『肉体と悪魔』
弁士:澤登翠 演奏:カラード・モノーン・トリオ
- 6 月 13 日(木)・14 日(金) 『戦場にかける橋』

6 月 15 日(土)～21 日(金)シネマカリテにて上映

- 6 月 15 日(土) 【活弁上映】『散り行く花』
弁士:坂本頼光 演奏:カラード・モノーン・デュオ
- 6 月 16 日(日) 【活弁上映】『キートンのマイホーム』、『キートンの西部成金』
弁士:澤登翠 演奏:カラード・モノーン・デュオ
- 6 月 17 日(月)・18 日(火) 『Shall we ダンス?』
- 6 月 19 日(水) 【活弁上映】『第七天国』
弁士:澤登翠 演奏:カラード・モノーン・デュオ
- 6 月 20 日(木)・21 日(金) 『小さな園の大きな奇跡』

*6 月 8 日(土)上映終了後、トークイベントあり。 ゲスト:周防正行監督、澤登翠様
(イベント内容は都合により変更することがあります。)

以 上

(ご挨拶) 武蔵野館 百周年にあたって

武蔵野興業株式会社
代表取締役社長 河野 義勝

2020(令和 2)年 6 月、お蔭様で武蔵野館は百周年を迎えます。これも、映画を愛する皆様、武蔵野館を育ててくださったお客様、新宿の街と皆様のお蔭と、深く感謝を申し上げます。

武蔵野館が開館したのは 1920(大正 9)年 6 月。新宿の有志が集まって、街の発展開発を祈念して立ち上げたと聞いています。その後、私の祖父の河野義一が引き継いだのが終戦後の混乱期でした。かなり強烈な性格でエピソードには事欠かない祖父ですが、映画文化の発展のために、また新宿の街や人のために一生懸命尽くしたそうです。

企業の責任は、社会にいかにか貢献をしていくかに尽きると思います。『老子道德経』の八章に「上善若水(水は低いほうに流れ周りを潤す)」という言葉があります。武蔵野館も、謙虚に身を低くして社会を潤すような、そんな映画館でありたいと願っています。

百年という大きな区切りの年を迎え、これを機に未来永劫盤石な映画館を目指して、一層努力してまいります。今後とも武蔵野館をご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。